

# 笑 顔

☆まあるじかん☆

篠山東中学校 3年1組学級通信

第 57 号

2018(平成30)年11月9日発行

発行者 松田 淳二

## 音弁大会を終えて

第65回篠山市中・特別支援学校音楽・弁論大会が終わりました。朝からバスに乗り、田園交響ホールに行って弁論を聴きました。本校からは、井関まいさんと加地琴音さんが弁論を発表しました。毎日40分以上練習してきた成果を十分に発揮することができました。その日々はかなりしんどかったと思いますが、本番まで本当によく頑張りました。堂々と自分の意見を聴衆に述べている姿はとってもかっこよく、会場全体がそれぞれの弁論に引き込まれていきました。本番もよく頑張りました。素晴らしい弁論の発表をありがとう。午前の部が終わり、外でお弁当を食べました。会場が寒かった分、外のポカポカした天候とお弁当を芝生に座って食べました。その後、パートリーダーを中心に合唱練習をしました。最後の最後まで繰り返しながら、練習をすることができました。その一人ひとりの姿をみながら、**主体的にこの音弁に挑もうとする思い**が伝わってきました。42人で挑む最後の蒼鷺の完成に向けてしっかりと準備できたことが何より素晴らしかったです。みんなで円陣を組んで、「蒼鷺を飛ばそう」と森田さんの掛け声で、士気をあげました。そして、本番、みんなが入場していく様子を見ながら、大丈夫！上手いく！！という思いがこみ上げてきました。そして、「時を越えて」が始まりました。生徒会を中心に1から全校生112名で創り上げた曲は本当に素敵なハーモニーで合唱の部のオープニングにふさわしいものになりました。会場が篠山東中学校生の温かく、優しい雰囲気になりました。「蒼鷺」は42人の心を1つに挑むことができました。出だしから安心をして聴いていられました。42人で歌う蒼鷺が最後だと思いながら、この蒼鷺を歌うことに決めるときから昨日までのことがいろいろと思い出されました。曲が決まってからパートリーダーを中心に1つひとつ音を取りながら、**自分たちで最後の最後まで努力し創り上げた蒼鷺**がこの42人でしか表現できない形で完成した素晴らしい歌声をまじかで聴けたことが私にとって幸せでした。みんなの歌声や歌っている姿を見ながら、**この42人に会えて本当によかったと思っ**たし、**あのステージで堂々と歌い上げているみんなを誇りに思いました**。65回の歴史に新たな1ページを加えた瞬間でした。篠山市内にみんなの素晴らしい雰囲気を発信することができました。ありがとう。

このような素晴らしい音弁大会になったのは、みんなの**日頃からの生活が安定している**からです。前日のピアノを下ろしたり、合唱台を片付けたりするときのみんなの動きやまとまりは本当に頼もしく、一丸となっていることが伝わってきました。**みんなで何かをしようとしたときに一生懸命に自分にできることをしようとする姿が身につけていてそれが様々な場面で活かされています**。聴衆としても素晴らしかったし、行動もすばやく、スケジュールに合わせようとする姿もよかったです。みんなの素晴らしさがあふれ、多くの人に感動を与えることができたことをこれからの自信にして、次の目標である進路実現に向けて42人で挑んでいこう。



**最後の最後まで課題をみつけながら努力することができた**みんなならできます。お互いに協力しながら、支え合って生活していこう。みんなならできる。感動をありがとう。

